

令和6年3月12日 議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

○議長（中本隆志君） 以上をもちまして、今次定例会に提出されました案件は、ここに全て議了いたしました。

各位におかれましては、開会以来、本日まで 29 日間の長期にわたる会期を通じて、終始格段の御精励を賜り、令和6年度当初予算をはじめ、条例その他の重要議案について、慎重な審議を尽くされ、いずれも適切な結論を得られましたことは、県民福祉の向上と県勢伸展のため、誠に御同慶に堪えません。

まず初めに、本日、北広島町内の養鶏場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。県当局には、関係機関との緊密な連携の下、被害の蔓延防止に万全を期していただくようお願いいたします。

さて、我が国は、30年にわたるデフレからの完全脱却に向けて、国の総合経済対策などが実施される中、賃上げに前向きな動きが見られるとともに、先月は、日経平均株価が、約34年ぶりに史上最高値を更新し、バブル後を脱するなど、大きな転換点を迎えております。

本県におきましても、来年度は、本格的な成長への好循環を実現していく上で重要な年であり、足元の物価高騰や深刻化する人手不足への対策を講じるとともに、持続的な賃上げ環境の整備や企業の成長を後押しする取組などにより、経済の回復をより確かなものにしていかなければなりません。

また、将来の地域の活力維持に大きな影響を及ぼす人口減少、少子高齢化や若者の県外流出などの課題に対して、より効果の高い取組を推進するとともに、能登半島地震における課題などを踏まえて、県土強靱化や防災体制の整備など、ハード・ソフト両面にわたる防災・減災対策を、一層強化する必要があります。

先ほど可決した令和6年度当初予算は、こうした課題などに注力する内容となっており、本県の持続的発展にとりまして、極めて重要であります。

執行部におかれましては、新年度の諸施策の実施に当たり、審議の過程で議員各位から述べられた意見等に十分留意されますとともに、情勢の変化にも適切に対応し、成果を挙げられますよう、お願いします。

県議会といたしましても、時代が大きく変化する中で、その変化を力に変えて、安全・安心な県民生活を実現するとともに、本県を新たな成長のステージへ移行させられるよう、全力を挙げて取り組んでまいります。

終わりにになりましたが、平川教育長におかれましては、本県初の民間出身の教育長として2期6年にわたり、叡智学園の立ち上げをはじめ、学びの変革や児童生徒の不登校対策を推進されるなど、本県の教育行政に、御貢献いただいたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

これもちまして2月定例会を閉会いたします。